

アグリ筑西

2020 11月号



朝晩の冷え込みに、冬が近づいているを感じます。昼夜の寒暖の差が激しいので、お体にお気をつけください。



県西農林事務所 経営・普及部門
 (筑西地域農業改良普及センター) 発行
 Tel : 0296(24)9206 Fax : 0296(24)6979



筑西地域農業改良普及センターHPへアクセス! →

麦畑におけるカラスムギ、コムギなまぐさ黒穂病対策として、野菜を栽培しませんか

近年、麦畑において、雑草のカラスムギや病気のコムギなまぐさ黒穂病の発生が多く見られる圃場があります(写真1・2)。これらは農薬だけで完全に防除することが難しく、多発生の圃場では麦の収量や品質が大きく低下してしまいます。

有効な対策の一つとして、麦に代わる作物を導入し、複数年かけて発生量を減らしていく方法があります(輪作)。下表は普通作体系に合わせた野菜導入の一例であり、水稻・麦・大豆を作付けしている場合でも比較的作付け可能な作物を記載しています。

野菜栽培に興味があり、さらに詳しい情報を聞いてみたい方は普及センターまでご連絡ください。



写真1：カラスムギが多発生している麦畑



写真2：コムギなまぐさ黒穂病の被害粒
 ※写真提供：県農業研究所

表1 普通作体系に合わせた野菜導入例

| | 品目 | 1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 粗収益 労働時間 |
|----|-----------------|----|----|----|-----|----|----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|---------------|
| 例1 | 水稻 | | | | ○ ◎ | ◎ | | | | ● ● | | | | 10万円 10時間 |
| | 麦類 | | | | | ● | ● | | | | | ○ | ○ | 7.5万円 4時間 |
| | 大豆 | | | | | | ○ | ○ | | | | ● | ● | 6万円 5時間 |
| | トウモロコシ マルチ直播 | | | | ○ | | | ● ● | | | | | | 31万円 45時間 |
| | かんしょ 早堀り | | | ○ | ◎◎ | | | ● | ● | | | | | 35万円 133時間 |
| 例2 | ネギ 秋冬どり | ● | | | ○ | | ◎ | | | | | | ● | 75万円 250時間 |
| | ハクサイ 晩生 | | | | | | | | ○ ○ | ◎ ◎ | | ● | ● | 35万円 65時間 |
| 例3 | キャベツ 冬どり | | | | | | | | ○ ○ | ◎ ○ | | | ● ● | 31万円 55時間 |

○：播種，◎：移植，●：収穫

注1) 粗収益と労働時間は10a当たりの数字。麦・大豆の粗収益は補助金を含みます。

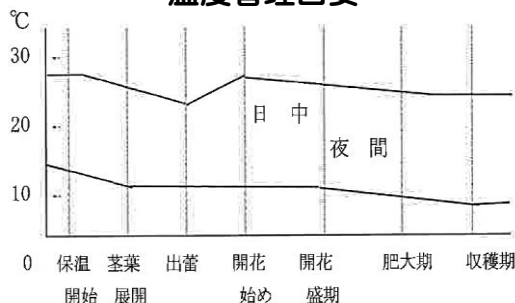
注2) 粗収益は県内各地区の経営指標に基づく目安であり、収量や単価，労働時間等により変動します。

イチゴの今後の管理について ～「とちおとめ」の定植後の管理～

いよいよイチゴが開花し収穫が始まるシーズンとなります。そこで、今後の管理のポイントについて確認したいと思います。

- 保温開始時期…保温開始直後の高温管理によって花芽分化が遅延する恐れがあるので定植後30日後を目安に保温を開始しましょう。
- マルチング……保温開始後に展張しましょう。根張りが十分でない場合は、急激な地温の上昇は避け、マルチングを遅らせるかマルチの裾をたくし上げておきましょう。
- 温度管理……根及び花房の充実を図るために出蕾期までは高温管理にならないようにしましょう。午前中25～28℃、午後23℃程度が日中の温度管理の目安です。夜温は8℃を下回らないようにしましょう。また、収穫開始期の草丈が24～25cmが適当です。温度管理の目安は右図を参考にしてください。
- 肥培管理……追肥は頂花房の果実肥大期以降、草勢に応じて施用しましょう。また、厳寒期の草勢維持のために必要に応じて電照の点灯や炭酸ガスの施用を行いましょう。
- 病虫害防除……ミツバチに影響の少ない薬剤を選択し、病害はうどんこ病や灰色かび病、害虫はハダニ類やアザミウマ類、ヨトウムシ類、アブラムシ類等の防除を行いましょう。

温度管理目安



農業用ハウスの強靱化を行いましょ

近年、農業用ハウスに甚大な被害を与える自然災害が多発していることから、今後、県では、農業用ハウスの新設等に活用可能な支援対策の補助対象を風速36m/s以上に耐えられる強度のハウス(『強靱化ハウス』)に限定することと致しました。

また、補強対策については、「茨城県農業用ハウス災害被害防止マニュアル」にまとめております。マニュアル及び具体的な支援策については茨城県県西農林事務所企画調整部門ホームページ等をご参照ください。

(問合せ先: 農業振興課 (0296 - 24 - 9174))

「強靱化ハウス」の仕様(例)



パイプ径25.4mm
+ 筋交い



パイプ径22.2mm
+ 筋交い + タイバー



パイプ径22.2mm
(補強なし)

普及員のひとりごと ～米田 雅俊～

15年ぶりに再任用職員として、戻ってまいりました。主に筑西地域の果樹(梨)を担当させていただきます。当時植えた梨樹は、しっかりと稼ぐ樹に成長。最近の激しい気候変動は、梨栽培を難しくしています。美味しい梨を成らせる樹づくり、その樹の土台となる「根っこ」づくりがこれからは特に大切になってくると思われま。皆様のお役に立てるよう精一杯頑張りますので、よろしくお願い致します。